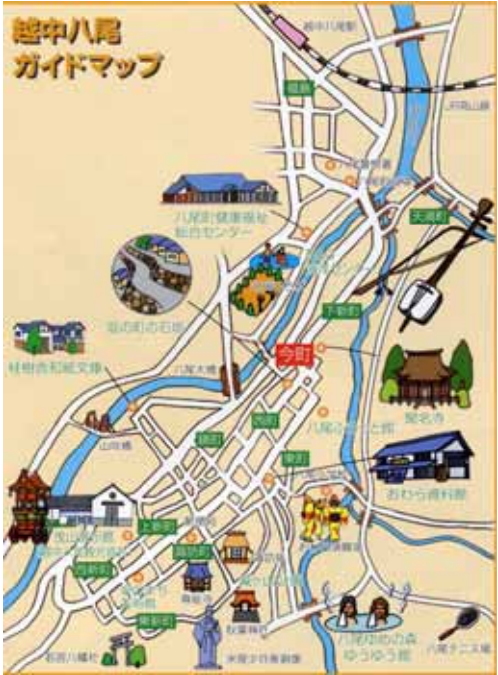


観光社会資本の事例

テーマ	おわら風の盆と坂のまち
[施設の状況写真]  坂のまちを象徴する石積の景観  アンカーの施工に際して、受圧板に玉石ブロックパネルを貼り付けることで、施工前の石積の風景を残すことができた。	
[施設の利用写真]   石積と家並みと坂道が織り成す特徴ある景観は、観光客の目をひきつけています。	
[観光資源としての利用状況] 石積みと家並みと坂道が織り成す特徴ある景観は、全国的に有名な「おわら風の盆」に訪れる観光客の人気の的であり、八尾町のシンボルの景観として親しまれています。	

テーマ	おわら風の盆と坂のまち
[社会資本の基礎データ] ○名称 今町地区急傾斜地崩壊対策 ○所在地 富山県富山市八尾町今町地内 ○事業名 今町地区急傾斜地崩壊対策事業 ○事業主体 富山県 ○事業期間 平成7年度～平成16年度	
[社会資本の役割・効果] 当該箇所は、保全対象人家が200戸以上を数える急傾斜地崩壊危険区域であり、昭和40年代に石積みが整備され、石積・家並み・坂道が織り成す独特の風景が、「越中おわら」が有名になるにつれシンボリックな景観となった。この石積みの老朽化が進んだため、平成7年より改修工事を行ってきたが、地域住民が参加して「わが町の斜面整備構想」を策定し、これに基づき整備を行ってきた。昭和40年代に施工された石積みの景観を残すため、アンカー受圧板に玉石ブロックパネルを利用するなどの配慮をした。	
[位置図]  	
[関連ホームページ] 越中八尾観光協会 http://www.yatsuo.net/kankou/	